

令和4年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	福岡県		市町村類型	Ⅲ-3		指定団体等の指定状況		区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	区分		令和4年度(千円・%)	令和3年度(千円・%)																																																																																																																																															
						財政健全化等	×	歳入総額	42,463,610	43,729,205	実質収支比率	7.0	8.6																																																																																																																																																	
市町村名	大野城市		地方交付税種地	1-5		財源超過	×	歳出総額	41,007,295	41,947,189	経常収支比率	86.3	84.9																																																																																																																																																	
						首都	×	歳入歳出差引	1,456,315	1,782,016	(※1)	(88.4)	(90.4)																																																																																																																																																	
						近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	21,739	16,804	標準財政規模	20,370,484	20,484,744																																																																																																																																																	
								実質収支	1,434,576	1,765,212	財政力指数	0.80	0.81																																																																																																																																																	
人口	令和2年国調(人)	102,085	産業構造(※5)		中部	×	単年度収支	-330,636	776,435	公債費負担比率	11.2	17.0																																																																																																																																																		
	平成27年国調(人)	99,525			過疎	×	積立金	979,772	135,260	健全化判断比率																																																																																																																																																				
	増減率(%)	2.6			山振	×	繰上償還金	199,887	1,530,193	実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																		
住民基本台帳人口(※7)	令05.01.01(人)	102,809	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	103,799	597,742	連結実質赤字比率	-	-																																																																																																																																																	
	うち日本人(人)	101,701		第1次	121	155	指数表選定	○	実質単年度収支	745,224	1,844,146	実質公債費比率	2.9	3.0																																																																																																																																																
	令04.01.01(人)	101,925	第2次	0.3	0.4			基準財政収入額	12,848,547	12,125,979	資金不足比率(※4)																																																																																																																																																			
	うち日本人(人)	101,066		第3次	6,839	8,253			基準財政需要額	16,430,347	15,546,854																																																																																																																																																			
	増減率(%)	0.9		17.0	19.2			標準税収入額等	16,303,269	15,352,923																																																																																																																																																				
	うち日本人(%)	0.6		33,379	34,528			経常経費充当一般財源等	17,909,664	17,862,995																																																																																																																																																				
面積(km ²)	26.89			82.7	80.4			歳入一般財源等	26,333,787	25,705,585																																																																																																																																																				
人口密度(人/km ²)	3,796																																																																																																																																																													
世帯数(世帯)	42,781																																																																																																																																																													
職員の状況(※8)																																																																																																																																																														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	18,692,690	20,162,336																																																																																																																																																			
	市区町村長	1	9,260		一般職員	407	1,271,875	3,125	うち公的資金	8,482,088	9,141,951																																																																																																																																																			
	副市区町村長	1	7,630		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	10,416,847	11,219,973																																																																																																																																																			
	教育長	1	6,910		うち技能労務職員	3	11,169	3,723	債務負担行為額(支出予定額)	15,906,424	11,956,946																																																																																																																																																			
	議会議長	1	5,680		教育公務員	2	*	*	収益事業収入	-	-																																																																																																																																																			
	議会副議長	1	5,070		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-																																																																																																																																																			
	議会議員	18	4,620		合計	409	1,280,281	3,130	積立金現在高	-	-																																																																																																																																																			
						ラスパレス指数			101.4	財政調整基金	4,264,698	3,388,725																																																																																																																																																		
								減債基金	-	-																																																																																																																																																				
								その他特定目的基金	10,563,219	9,240,495																																																																																																																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>一般会計等の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>事業会計の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>公営企業(法非適)の一覧 項番</th> <th>会計名</th> <th>関係する一部事務組合等一覧 項番</th> <th>組合等名</th> <th>地方公社・第三セクター等一覧 項番</th> <th>団体名</th> <th>(※3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>一般会計</td> <td>(2)</td> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>(6)</td> <td>水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(8)</td> <td>福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)</td> <td>(18)</td> <td>大野城まどかびあ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(3)</td> <td>介護保険特別会計(保険事業勘定)</td> <td>(7)</td> <td>下水道事業会計</td> <td></td> <td></td> <td>(9)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)</td> <td>(19)</td> <td>大野城市スポーツ協会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(4)</td> <td>介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(10)</td> <td>福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)</td> <td>(20)</td> <td>おおのじょう緑のトラスト協会</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(5)</td> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(11)</td> <td>筑紫自治振興組合(一般会計)</td> <td>(21)</td> <td>大野城市土地開発公社</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(12)</td> <td>筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(13)</td> <td>春日・大野城・那珂川消防組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(14)</td> <td>大野城太宰府環境施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(15)</td> <td>福岡県自治振興組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(16)</td> <td>福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(17)</td> <td>春日大野城衛生施設組合(一般会計)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>																一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)	(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計			(8)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	(18)	大野城まどかびあ				(3)	介護保険特別会計(保険事業勘定)	(7)	下水道事業会計			(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(19)	大野城市スポーツ協会				(4)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)					(10)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	(20)	おおのじょう緑のトラスト協会				(5)	後期高齢者医療特別会計					(11)	筑紫自治振興組合(一般会計)	(21)	大野城市土地開発公社										(12)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)												(13)	春日・大野城・那珂川消防組合(一般会計)												(14)	大野城太宰府環境施設組合(一般会計)												(15)	福岡県自治振興組合(一般会計)												(16)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)												(17)	春日大野城衛生施設組合(一般会計)			
一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)																																																																																																																																																		
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(6)	水道事業会計			(8)	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	(18)	大野城まどかびあ																																																																																																																																																			
		(3)	介護保険特別会計(保険事業勘定)	(7)	下水道事業会計			(9)	福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	(19)	大野城市スポーツ協会																																																																																																																																																			
		(4)	介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)					(10)	福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	(20)	おおのじょう緑のトラスト協会																																																																																																																																																			
		(5)	後期高齢者医療特別会計					(11)	筑紫自治振興組合(一般会計)	(21)	大野城市土地開発公社																																																																																																																																																			
								(12)	筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)																																																																																																																																																					
								(13)	春日・大野城・那珂川消防組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(14)	大野城太宰府環境施設組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(15)	福岡県自治振興組合(一般会計)																																																																																																																																																					
								(16)	福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)																																																																																																																																																					
								(17)	春日大野城衛生施設組合(一般会計)																																																																																																																																																					

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特別債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、令和4年度地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)					地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	14,372,710	33.8	13,506,108	66.6	普通税	13,506,108	94.0	185,854	
地方譲与税	291,364	0.7	291,364	1.4	法定普通税	13,506,108	94.0	185,854	
利子割交付金	4,290	0.0	4,290	0.0	市町村民税	6,952,816	48.4	185,854	
配当割交付金	69,292	0.2	69,292	0.3	個人均等割	178,658	1.2	-	
株式等譲渡所得割交付金	57,658	0.1	57,658	0.3	所得割	5,930,101	41.3	-	
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	329,591	2.3	37,845	
地方消費税交付金	2,367,750	5.6	2,367,750	11.7	法人税割	514,466	3.6	148,009	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	5,668,368	39.4	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	5,633,222	39.2	-	
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	216,390	1.5	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	668,534	4.7	-	
自動車税環境性能割交付金	31,526	0.1	31,526	0.2	鉱産税	-	-	-	
法人事業税交付金	174,972	0.4	174,972	0.9	特別土地保有税	-	-	-	
地方特例交付金等	131,421	0.3	131,421	0.6	法定外普通税	-	-	-	
個人住民税減収補填特別交付金	129,540	0.3	129,540	0.6	目的税	866,602	6.0	-	
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	1,881	0.0	1,881	0.0	法定目的税	866,602	6.0	-	
地方交付税	3,903,210	9.2	3,581,800	17.7	入湯税	-	-	-	
普通交付税	3,581,800	8.4	3,581,800	17.7	事業所税	-	-	-	
特別交付税	321,410	0.8	-	-	都市計画税	866,602	6.0	-	
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-	
(一般財源計)	21,404,193	50.4	20,216,181	99.8	法定外目的税	-	-	-	
交通安全対策特別交付金	18,972	0.0	18,972	0.1	旧法による税	-	-	-	
分担金・負担金	403,420	1.0	-	-	合計	14,372,710	100.0	185,854	
使用料	209,737	0.5	21,340	0.1					
手数料	361,563	0.9	-	-					
国庫支出金	9,162,878	21.6	-	-					
国有提供交付金(特別区財調交付金)	8,007	0.0	8,007	0.0					
都道府県支出金	2,954,316	7.0	-	-					
財産収入	61,537	0.1	-	-					
寄附金	1,827,311	4.3	-	-					
繰入金	1,737,397	4.1	-	-					
繰越金	1,782,016	4.2	-	-					
諸収入	975,348	2.3	42	0.0					
地方債	1,556,915	3.7	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	485,415	1.1	-	-					
歳入合計	42,463,610	100.0	20,264,542	100.0					

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況 (単位 千円・%)				
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	246,621	0.6	935	246,621
総務費	9,311,773	22.7	474,281	6,604,006
民生費	17,350,695	42.3	73,406	7,263,904
衛生費	3,653,270	8.9	64	2,688,066
労働費	33,608	0.1	-	23,608
農林水産業費	116,857	0.3	-	57,136
商工費	810,402	2.0	-	172,880
土木費	2,535,047	6.2	1,051,833	1,576,833
消防費	1,112,835	2.7	108,554	997,302
教育費	2,769,309	6.8	422,509	2,288,686
災害復旧費	3,681	0.0	-	2,059
公債費	3,063,197	7.5	-	2,956,371
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	41,007,295	100.0	2,131,582	24,877,472

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	19,844,489	48.4	10,350,067	8,978,828	43.3
人件費	4,918,636	12.0	4,421,928	3,975,701	19.2
うち職員給	3,164,818	7.7	2,715,211	-	-
扶助費	11,862,656	28.9	2,971,768	2,246,643	10.8
公債費	3,063,197	7.5	2,956,371	2,756,484	13.3
元利償還金	3,063,193	7.5	2,956,367	2,756,480	13.3
内 元金	3,026,561	7.4	2,920,845	2,720,958	13.1
内 うち利子	36,632	0.1	35,522	35,522	0.2
一時借入金利子	4	0.0	4	4	0.0
その他の経費	19,027,543	46.4	14,281,129	8,930,836	43.0
物件費	5,623,817	13.7	4,559,431	3,195,775	15.4
維持補修費	129,948	0.3	118,432	118,432	0.6
補助費等	5,580,035	13.6	5,064,761	3,347,743	16.1
うち一部事務組合負担金	1,564,975	3.8	1,344,012	1,256,400	6.1
繰入金	3,044,566	7.4	2,443,479	2,268,886	10.9
積立金	3,925,562	9.6	2,050,411	-	-
投資・出資金・貸付金	723,615	1.8	44,615	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,135,263	5.2	246,276	-	-
うち人件費	57,586	0.1	56,510	-	-
普通建設事業費	2,131,582	5.2	244,217	-	-
うち補助	1,114,673	2.7	90,989	-	-
うち単独	709,708	1.7	153,228	-	-
災害復旧事業費	3,681	0.0	2,059	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	41,007,295	100.0	24,877,472	-	-

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	3,890,536	実質収支	15,319
下水道	743,368	再差引収支	-143,527
上水道	102,602	加入世帯数(世帯)	11,309
工業用水道	-	被保険者数(人)	17,205
交通	-	被保険者	101
国民健康保険	770,385	1人当り	101
その他	2,274,181	保険税(料)収入額	-
		国庫支出金	-
		保険給付費	341

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和4年度 福岡県大野城市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	42,464	41,007	1,456	1,435	1,737	18,693	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	42,464	41,007	1,456	1,435		18,693	

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 国民健康保険特別会計	8,595	8,579	15	15	770	-	-	-	
2 介護保険特別会計(保険事業勘定)	6,169	6,080	90	90	1,068	-	-	-	
3 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	43	28	15	15	17	-	-	-	
4 後期高齢者医療特別会計	1,465	1,415	51	51	263	-	-	-	
5 水道事業会計	2,153	1,756	397	2,097	11	4,687	33	-	法適用企業
6 下水道事業会計	2,125	1,841	284	1,281	743	7,445	3,000	-	法適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 公営企業会計等				3,549		12,132	3,033		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1 福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合(一般会計)	88	86	3	3	-	-	-	
2 福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)	7,567	7,557	10	10	-	-	-	
3 福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)	74	74	0	0	-	-	-	
4 筑紫自治振興組合(一般会計)	46	44	2	2	-	5	-	
5 筑紫自治振興組合(筑紫公平委員会特別会計)	1	0	1	1	-	-	-	
6 春日・大野城・那珂川消防組合(一般会計)	2,666	2,644	23	23	35	606	-	
7 大野城太宰府環境施設組合(一般会計)	287	258	29	29	21	296	-	
8 福岡県自治振興組合(一般会計)	495	493	1	1	298	-	-	
9 福岡県自治振興組合(公文書館事業特別会計)	68	68	0	0	-	-	-	
10 春日大野城衛生施設組合(一般会計)	621	527	93	93	-	-	-	
11 筑紫苑施設組合(一般会計)	279	273	6	6	-	-	-	
12 福岡都市圏広域行政事業組合(一般会計)	284	202	82	82	-	-	-	
13 福岡都市圏広域行政事業組合(流域連携事業特別会計)	28	28	0	0	27	-	-	
14 福岡都市圏広域行政事業組合(競艇事業特別会計)	6,200	5,968	232	232	-	-	-	
15 福岡都市圏南部環境事業組合(一般会計)	2,843	2,770	72	72	358	9,679	-	
16 福岡県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	217	191	25	25	-	-	-	
17 福岡県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	823,874	808,406	15,468	15,468	-	-	-	
18 福岡地区水道企業団	12,522	10,965	1,557	8,274	1,552	7,772	-	法適用企業
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								
31								
32								
33								
34								
35								
36								
37								
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44								
45								
46								
47								
48								
49								
50								
51								
52								
53								
54								
55								
56								
57								
58								
59								
60								
61								
62								
63								
64								
65								
66								
67								
68								
69								
70								
71								
72								
73								
74								
75								
76								
77								
78								
79								
80								
81								
82								
計 一部事務組合等				24,321		18,358		

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 大野城まどかびあ	2	169	3	17					

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和4年度

福岡県大野城市

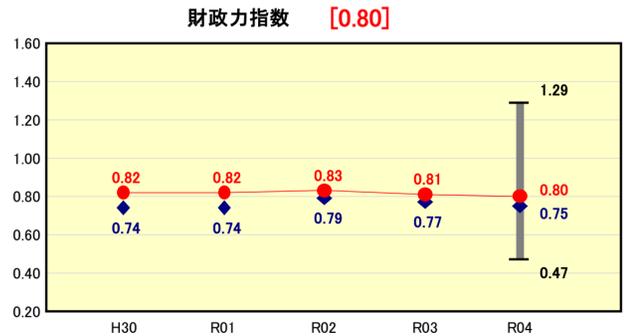
人口	102,809	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	101,701	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	26.89	k㎡	実質公債費比率	2.9	%
歳入総額	42,463,610	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	41,007,295	千円	市町村類型	H30 II-3 R01 II-3 R02 III-3	
実質収支	1,434,576	千円	(年度毎)	R03 III-3 R04 III-3	
標準財政規模	20,370,484	千円			
地方債現在高	18,692,690	千円			

● 当該団体値
◆ 類似団体内平均値
T 類似団体内の
| 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

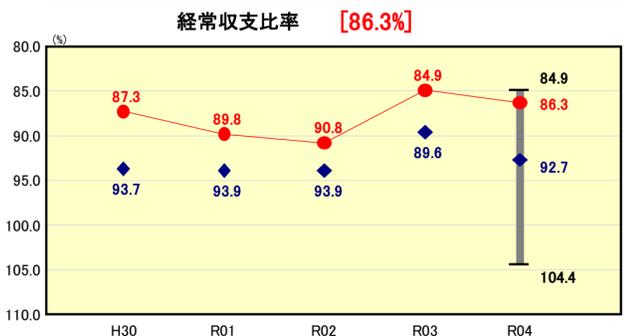
類似団体内順位 24/62 全国平均 0.49 福岡県平均 0.52



財政力指数の分析欄
 類似団体平均を0.05ポイント上回っている。大企業等の立地がないため、類似団体と比較した際の特徴的な財源としては航空機燃料譲与税のみであり、収入としては個人市民税が中心である。今後も税の徴収強化等を行い、歳入の確保に努めていく。

財政構造の弾力性

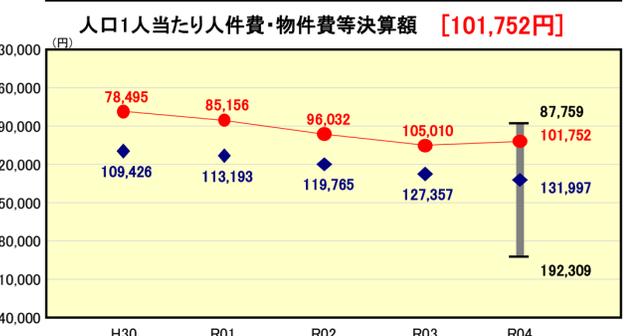
類似団体内順位 5/62 全国平均 92.2 福岡県平均 93.6



経常収支比率の分析欄
 経常経費のうち、人件費は類似団体の中でも5番目に低い団体である一方、補助費等については高い水準となっている。公債費を除いたその他の経費については、類似団体平均を下回っており、フルコスト診断等を用いた行政評価システムの効果と考えられる。公債費は類似団体平均を下回っているが、今後、公共施設の老朽化による更新などにより、市債借入が増加する可能性があるため、繰上償還等を行い、将来への負担を軽減するように努めていく。

人件費・物件費等の状況

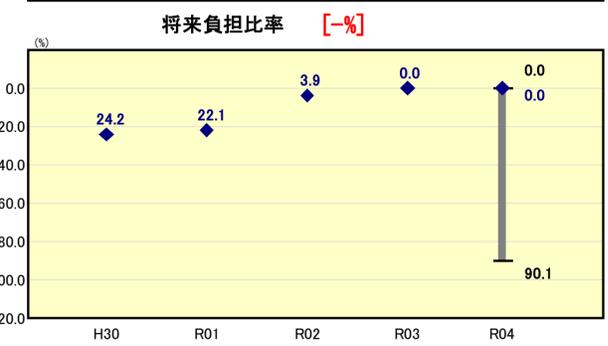
類似団体内順位 3/62 全国平均 160,081 福岡県平均 159,507



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 類似団体の中でも3番目に低い団体となっている。今後も住民サービスとの均衡を崩さないように配慮しながら経常的な義務的経費の削減に努めていく。

将来負担の状況

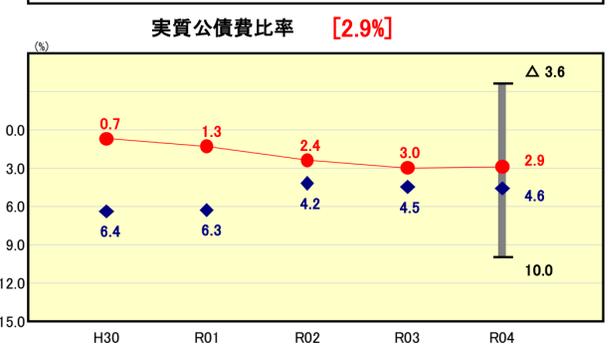
類似団体内順位 1/62 全国平均 8.8 福岡県平均 40.1



将来負担比率の分析欄
 充当可能財源が将来負担額を上回っている。今後とも住民サービスを低下させることなく、将来負担の適正化に努めていく。

公債費負担の状況

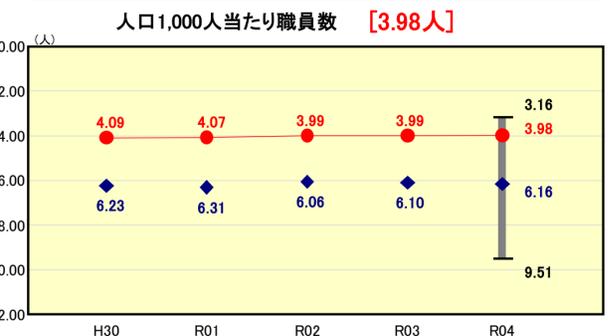
類似団体内順位 18/62 全国平均 5.5 福岡県平均 7.6



実質公債費比率の分析欄
 実質公債費比率は、類似団体平均を1.7ポイント下回っており、前年度よりも0.1ポイント減少している。今後とも住民サービスを低下させることなく、健全な財政運営に努めていく。

定員管理の状況

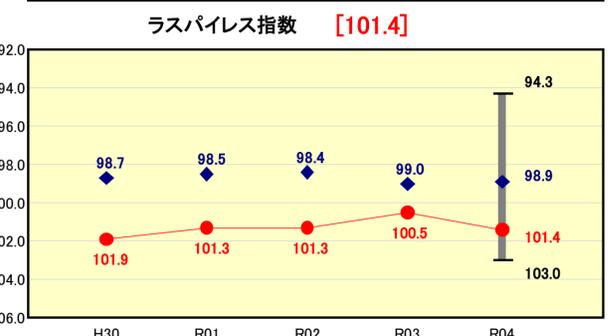
類似団体内順位 2/62 全国平均 8.25 福岡県平均 8.46



人口1,000人当たり職員数の分析欄
 類似団体の中でも2番目に低い団体となっている。今後も住民サービスとの均衡を崩さないように配慮しながら適正な定員管理に努めていく。

給与水準(国との比較)

類似団体内順位 56/62 全国市平均 98.7 全国町村平均 96.3



ラスパイレス指数の分析欄
 類似団体平均を上回っている。職員構成の変動等により高い水準となっているが、今後とも他の自治体の状況も踏まえ、給与制度・運用・水準の適正化に努めていく。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

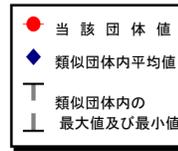
令和4年度

福岡県大野城市

経常収支比率の分析

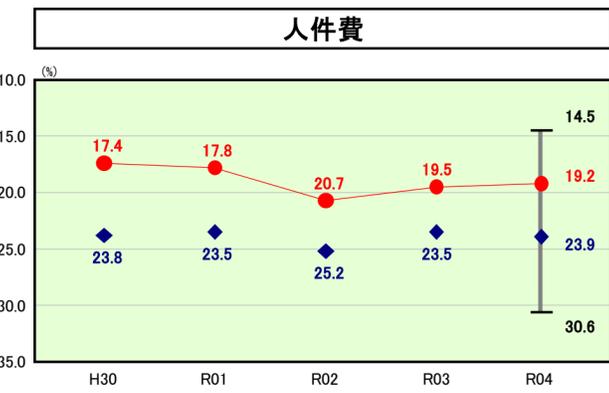
人口	102,809	人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	101,701	人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	26.89	km ²	実質公債費比率	2.9	%
歳入総額	42,463,610	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	41,007,295	千円	市町村類型	H30 II-3 R01 II-3 R02 III-3	
実質収支	1,434,576	千円	(年度毎)	R03 III-3 R04 III-3	
標準財政規模	20,370,484	千円			
地方債現在高	18,692,690	千円			

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



物件費の分析欄

新型コロナウイルスワクチン接種委託料の減などにより、物件費は減少し、類似団体平均を下回っている。
 今後も住民サービスを低下させないように配慮しながら、物件費の抑制に努める。



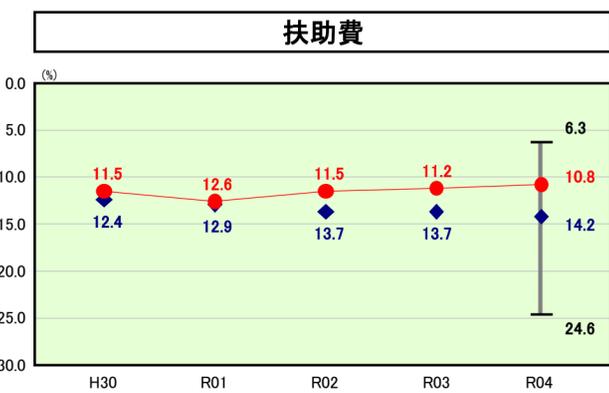
人件費の分析欄

人口千人当たり職員数が類似団体平均を下回っており、人件費は類似団体平均の中で5番目に低い団体であるが、会計年度任用職員制度の開始により増加傾向となっている。
 今後とも住民サービスとの均衡を崩さないよう配慮しながら、人件費の抑制に努める。



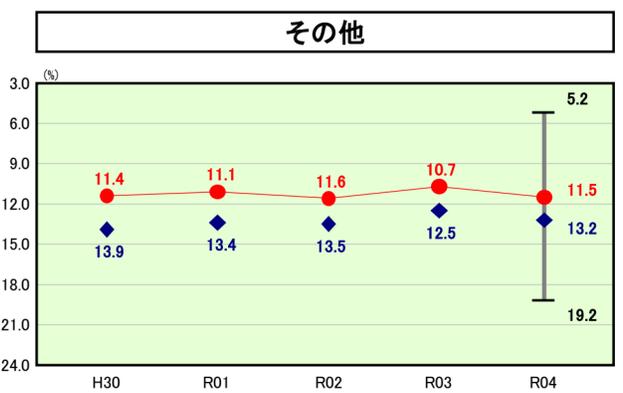
補助費等の分析欄

補助費等に係る経常収支比率は、類似団体の中でも高い水準となっている。これは、ごみ処理や消防などについて、積極的に近隣市町と一部事務組合を構成し、実施しているためである。
 今後とも、一部事務組合に対し、予算や事業計画等の適正管理を促すことで、補助費等の抑制に努める。



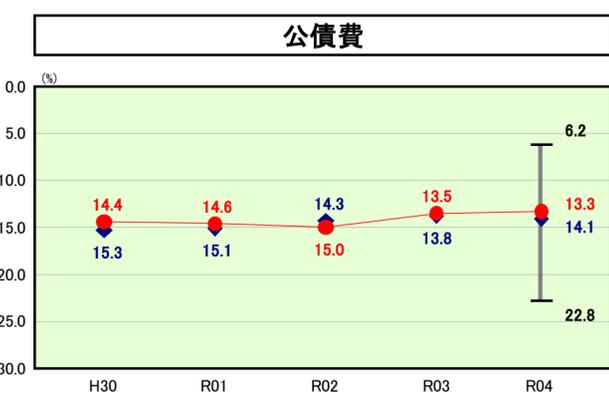
扶助費の分析欄

扶助費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、施設型給付費や施設等利用給付費、障害児通所給付費などの伸びにより、今後上昇する可能性があることから、給付等の適正化を図ることでその抑制に努める。



その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は、類似団体平均を下回っている。特別会計への繰出金が増加傾向にあることから、今後も予算や事業計画等の適正管理を促すことで抑制に努める。



公債費の分析欄

繰上償還を行ってきたことにより、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っている。
 今後は、公共施設の老朽化による更新などにより市債借入額の増加が見込まれるが、計画的な借入や繰上償還等を行うことにより公債費の抑制に努めていく。



公債費以外の分析欄

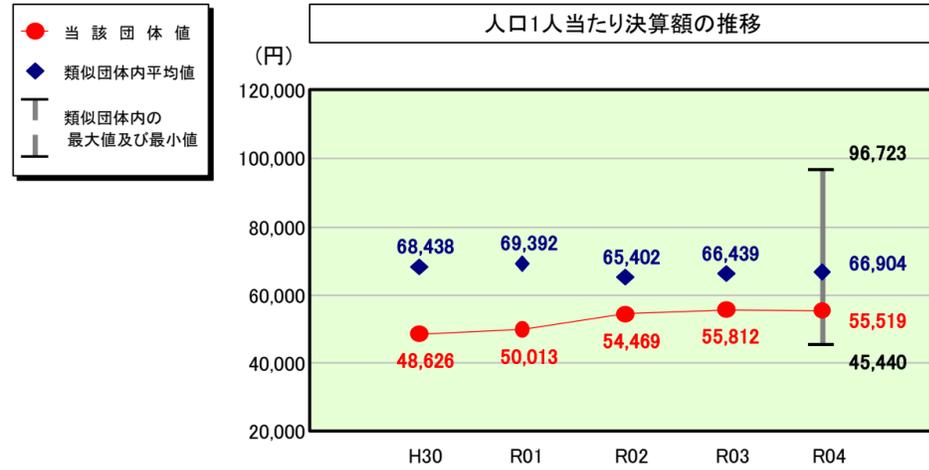
公債費以外の経常収支比率は、類似団体平均を下回っている。今後ともPDCAサイクル等を基本とした行政経営を進めていくことで、全ての事業の点検・見直しを行い、住民サービスを低下させることのない、適正な予算執行に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和4年度

福岡県大野城市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

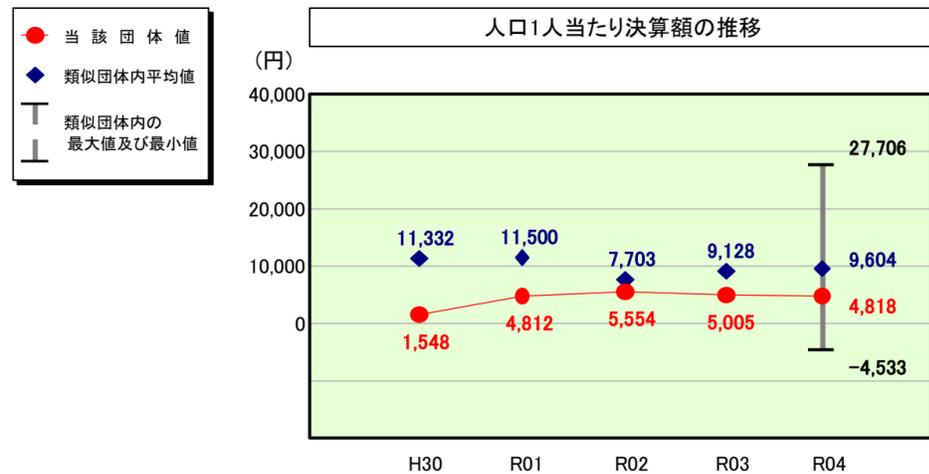
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	4,918,636	47,842	62,374	▲ 23.3
一部事務組合負担金(補助費等)	711,678	6,922	4,230	▲ 63.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	855	8	601	▲ 98.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	13	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	288,070	2,802	2,559	9.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	57,586	560	1,133	▲ 50.6
▲退職金	▲ 269,013	▲ 2,617	▲ 4,006	▲ 34.7
合計	5,707,812	55,519	66,904	▲ 17.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	3.98	6.16	▲ 2.18
ラスパイレス指数	101.4	98.9	2.5

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

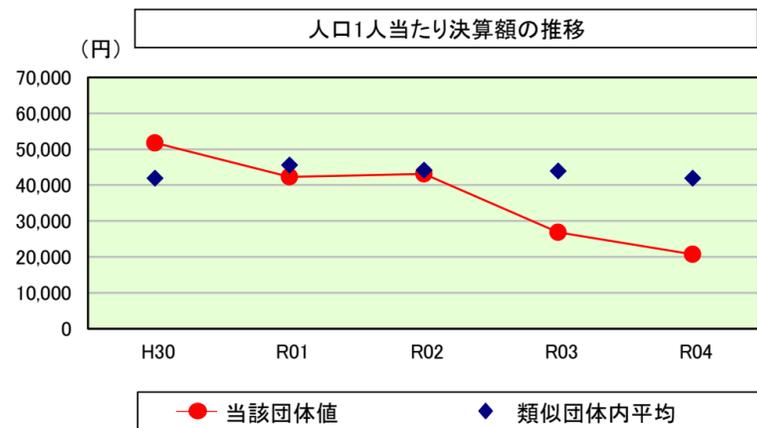


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,863,306	27,851	33,699	▲ 17.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	23	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	495,142	4,816	5,771	▲ 16.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	578	6	1,158	▲ 99.5
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	390,780	3,801	631	502.4
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 720,106	▲ 7,004	▲ 6,112	14.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 2,534,366	▲ 24,651	▲ 25,565	▲ 3.6
合計	495,334	4,818	9,604	▲ 49.8

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

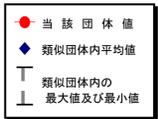
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H30	5,224,511	51,762	11.8	41,934	▲ 12.3	24.1
うち単独分	1,662,349	16,470	65.9	23,352	▲ 9.7	75.6
R01	4,279,678	42,308	▲ 18.3	45,588	8.7	▲ 27.0
うち単独分	1,717,349	16,977	3.1	24,150	3.4	▲ 0.3
R02	4,399,985	43,158	2.0	44,161	▲ 3.1	5.1
うち単独分	1,934,360	18,974	11.8	23,644	▲ 2.1	13.9
R03	2,733,099	26,815	▲ 37.9	43,955	▲ 0.5	▲ 37.4
うち単独分	975,841	9,574	▲ 49.5	21,318	▲ 9.8	▲ 39.7
R04	2,131,582	20,733	▲ 22.7	41,921	▲ 4.6	▲ 18.1
うち単独分	709,708	6,903	▲ 27.9	21,655	1.6	▲ 29.5
過去5年間平均	3,753,771	36,955	▲ 13.0	43,512	▲ 2.4	▲ 10.6
うち単独分	1,399,921	13,780	0.7	22,824	▲ 3.3	4.0

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

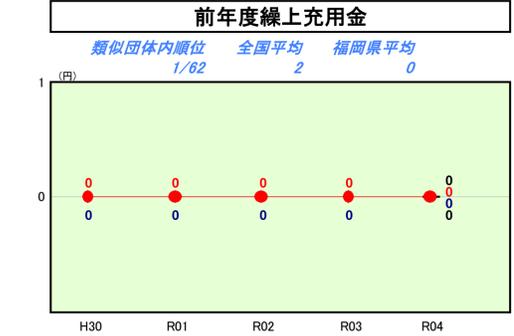
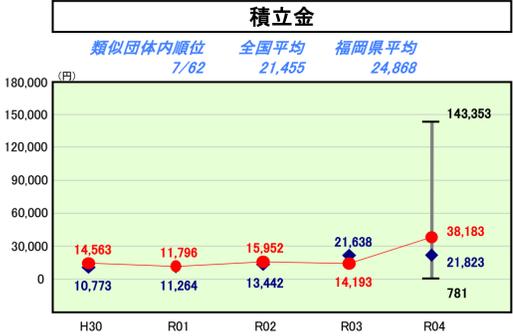
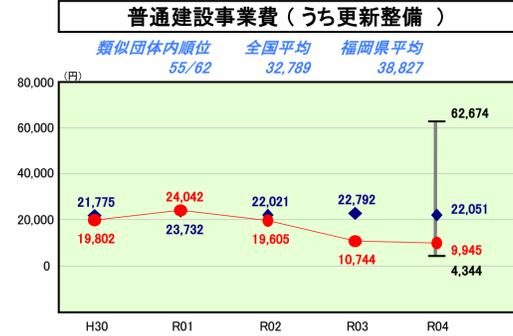
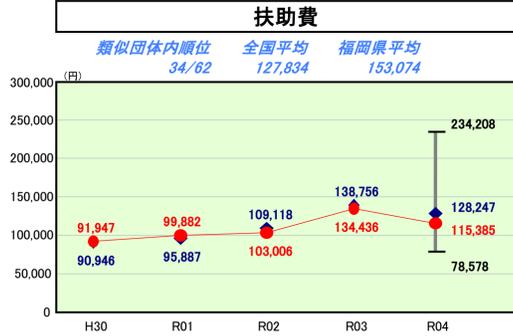
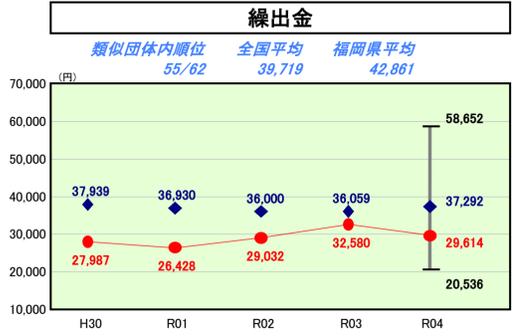
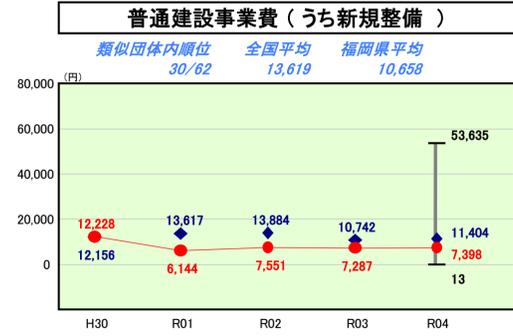
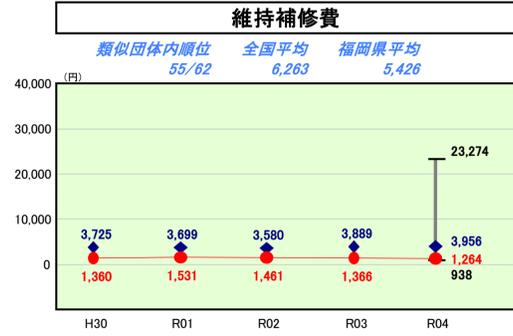
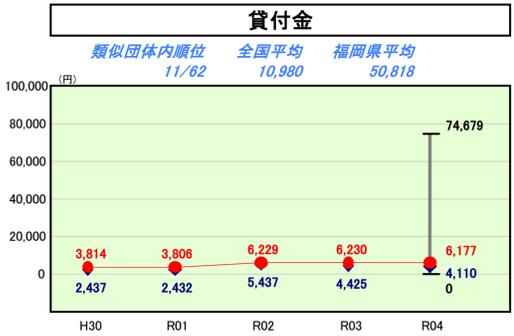
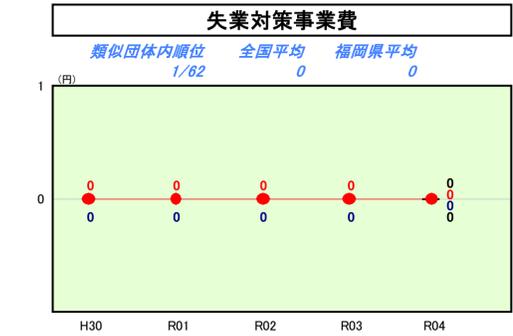
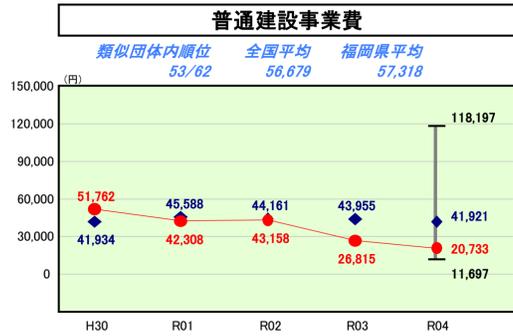
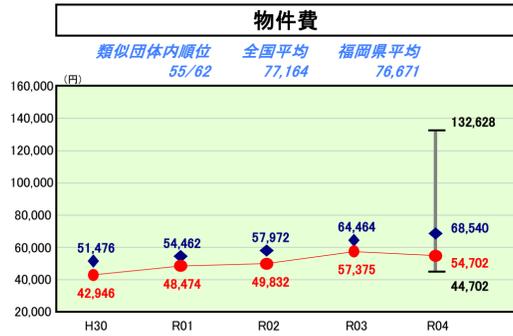
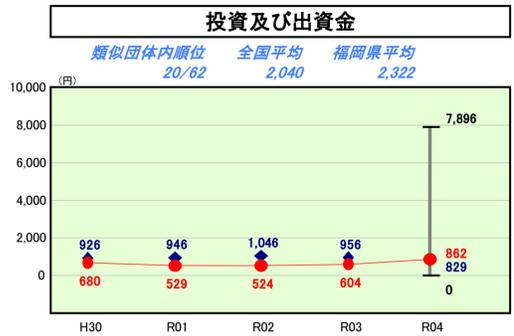
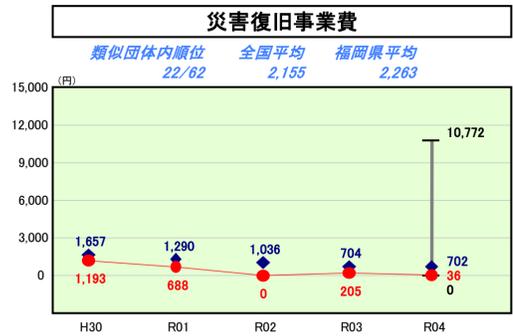
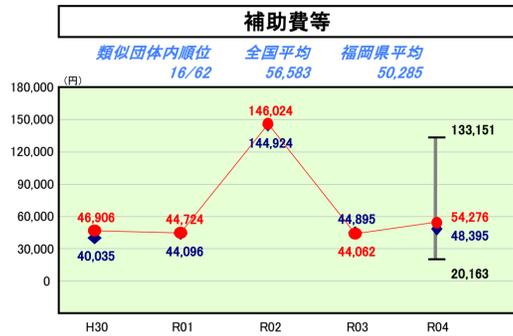
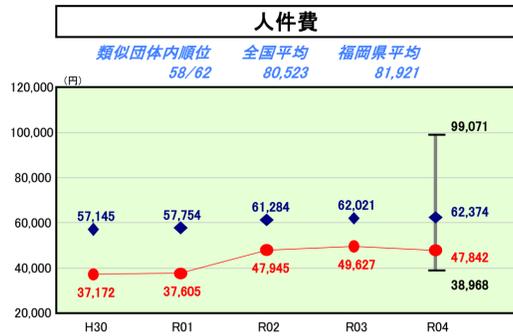
令和4年度

福岡県大野城市

人口	102,809人 (R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	101,701人 (R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	26.89km ²	実質公債費比率	2.9%
歳入総額	42,463,610千円	将来負担比率	-%
歳出総額	41,007,295千円	市町村類型	H30 II-3 R01 II-3 R02 III-3
実質収支	1,434,576千円	(年度毎)	R03 III-3 R04 III-3
標準財政規模	20,370,484千円		
地方債現在高	18,692,690千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

貸付金は、住民一人当たり6,177円となっており、類似団体平均を上回っているのは、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、中小企業融資制度預託金などが増加したことが主な要因である。
 積立金は、住民一人当たり38,183円となっており、類似団体平均を上回っているのは、公共施設の老朽化に伴う更新に備えて、令和3年度決算剰余金を公共施設整備基金などに積み立てを行ったことが主な要因である。
 補助費等は、住民一人当たり54,276円となっており、類似団体平均を上回っているのは、新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援策として、下水道使用料基本料金補助等を実施したことなどが主な要因である。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和4年度

福岡県大野城市

人口	102,809人(R5.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	101,701人(R5.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	26.89km ²	実質公債費比率	2.9%
歳入総額	42,463,610千円	将来負担比率	-%
歳出総額	41,007,295千円	市町村類型	H30 II-3 R01 II-3 R02 III-3
実質収支	1,434,576千円	(年度毎)	R03 III-3 R04 III-3
標準財政規模	20,370,484千円		
地方債現在高	18,692,690千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和4年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



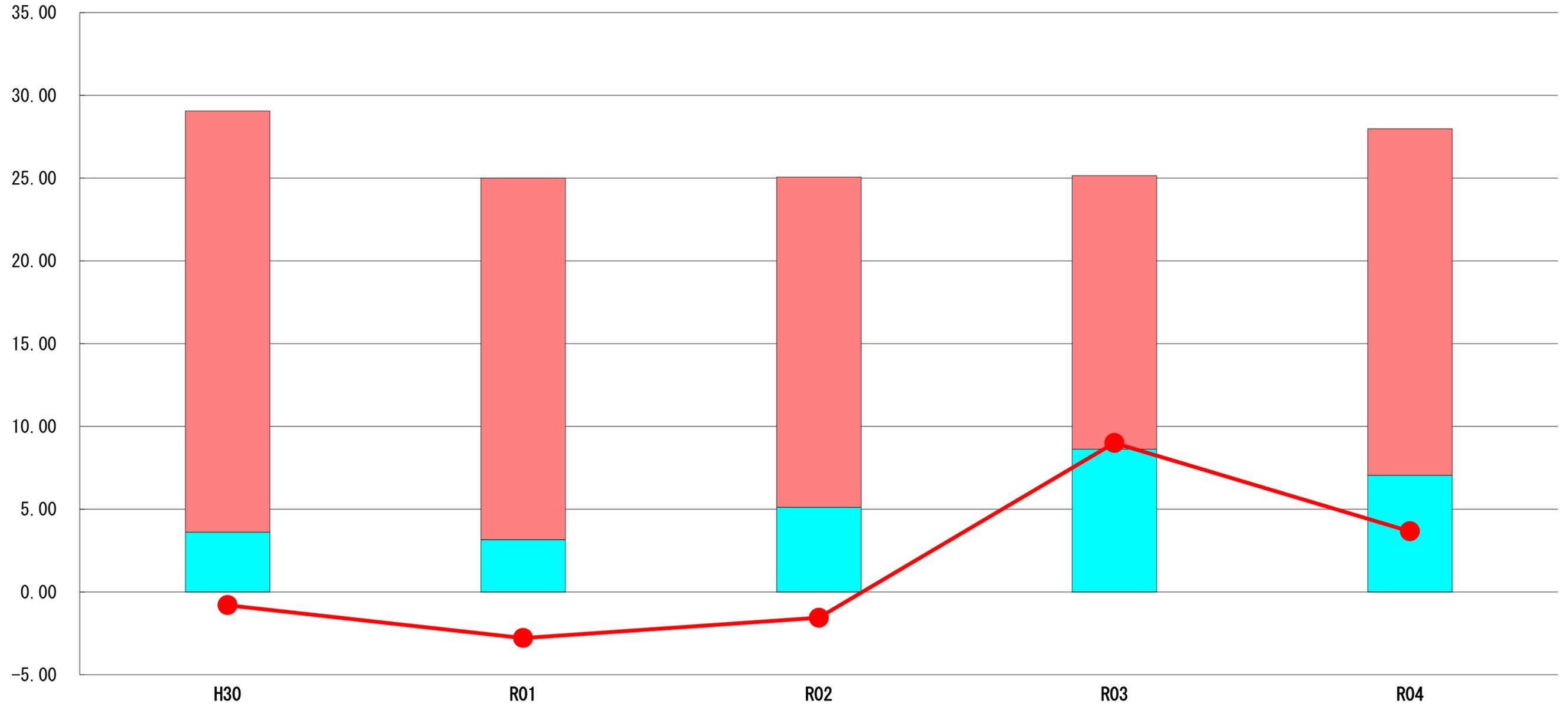
目的別歳出の分析欄
 総務費は、住民一人当たり90,574円となっており、類似団体平均を上回っているのは、ふるさと納税にかかる経費や公民館など公共施設の更新費用が増額となったことが主な要因である。
 民生費は、住民一人当たり168,766円となっており、類似団体平均を下回っているのは、国民健康保険特別会計への繰上金において、税率見直しなどにより法定外繰出しが減少していることなどが主な要因である。
 公債費は、住民一人当たり29,795円となっており、類似団体平均を下回っているのは、繰上償還を実施したことなどにより償還額が減少していることが主な要因である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和4年度

福岡県大野城市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		25.44	21.85	19.95	16.54	20.94
 実質収支額		3.61	3.16	5.12	8.62	7.04
 実質単年度収支		▲ 0.80	▲ 2.79	▲ 1.56	9.00	3.66

分析欄

財政調整基金は、繰替運用の財源としても活用しており、必要な額を確保しつつ、住民サービスの向上に繋がる事業に充てるなど適正な運用を行っている。

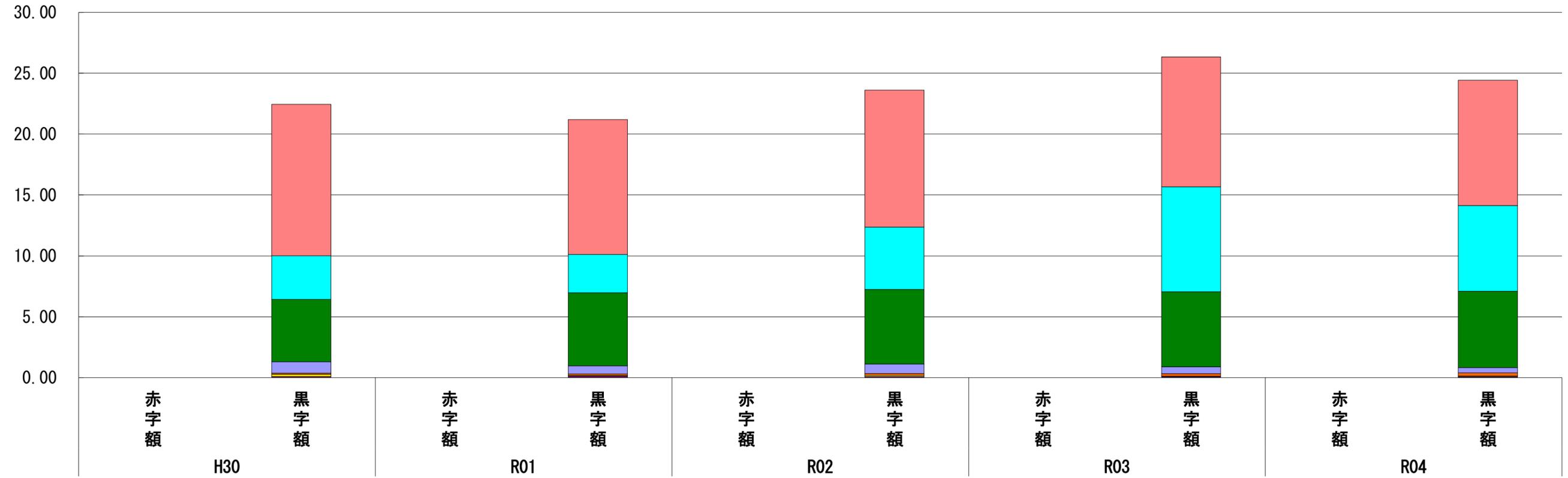
市債償還のピークを過ぎたこと、高利率の市債の繰上償還を積極的に実施し、元利償還金の抑制を図ることなどにより、今後も歳入歳出のバランスに常に留意し、健全な財政運営に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和4年度

福岡県大野城市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H30	R01	R02	R03	R04
水道事業会計		12.42	11.09	11.26	10.67	10.29
一般会計		3.60	3.15	5.12	8.61	7.04
下水道事業会計		5.12	5.98	6.12	6.18	6.28
介護保険特別会計（保険事業勘定）		0.93	0.68	0.78	0.55	0.44
後期高齢者医療特別会計		0.10	0.12	0.14	0.21	0.24
国民健康保険特別会計		0.18	0.07	0.10	0.04	0.07
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）		0.09	0.11	0.10	0.08	0.07
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	0.00	0.00	-

分析欄

公営企業会計である水道事業会計及び下水道会計については、黒字経営となっている。
 一般会計も黒字経営となっている。
 税や保険料を主な財源とする国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計は、概ね収支のバランスが取れている。
 今後も、歳入歳出のバランスに常に留意し、健全な財政運営に努める。

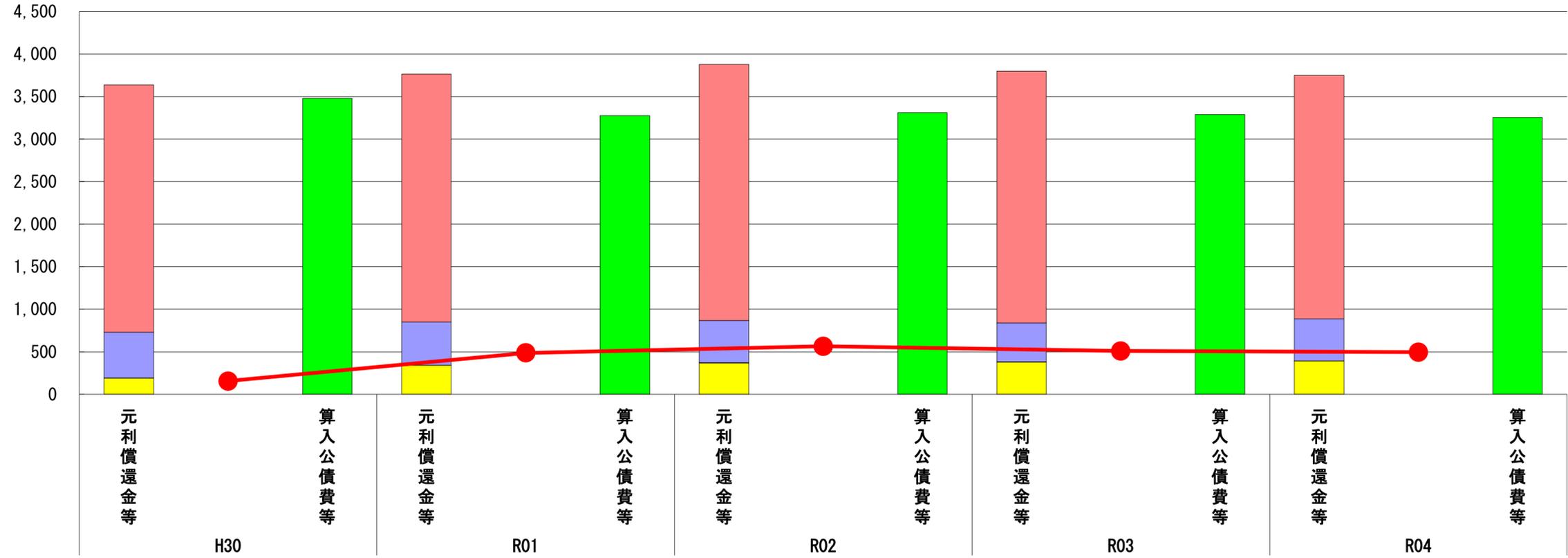
※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

福岡県大野城市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
元利償還金等(A)	元利償還金		2,904	2,915	3,009	2,960	2,863
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		538	507	496	458	495
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		2	2	1	1	1
	債務負担行為に基づく支出額		191	340	370	380	391
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		3,479	3,277	3,311	3,290	3,254
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		156	487	565	509	496

分析欄

実質公債費比率が減少してきている要因としては、多数の事業を実施した年度に借入を行った市債の償還が終了し、市債償還のピークを過ぎたこと、また、高利率の市債の繰上償還を積極的に実施し、元利償還金の抑制を図ったことによるものである。
 今後も中期的な見直しの中で適正水準の維持に努める。

※1 令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※2 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等(注)		年度	H30	R01	R02	R03	R04
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

分析欄

満期一括償還地方債の発行は行っていないため、該当なし。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

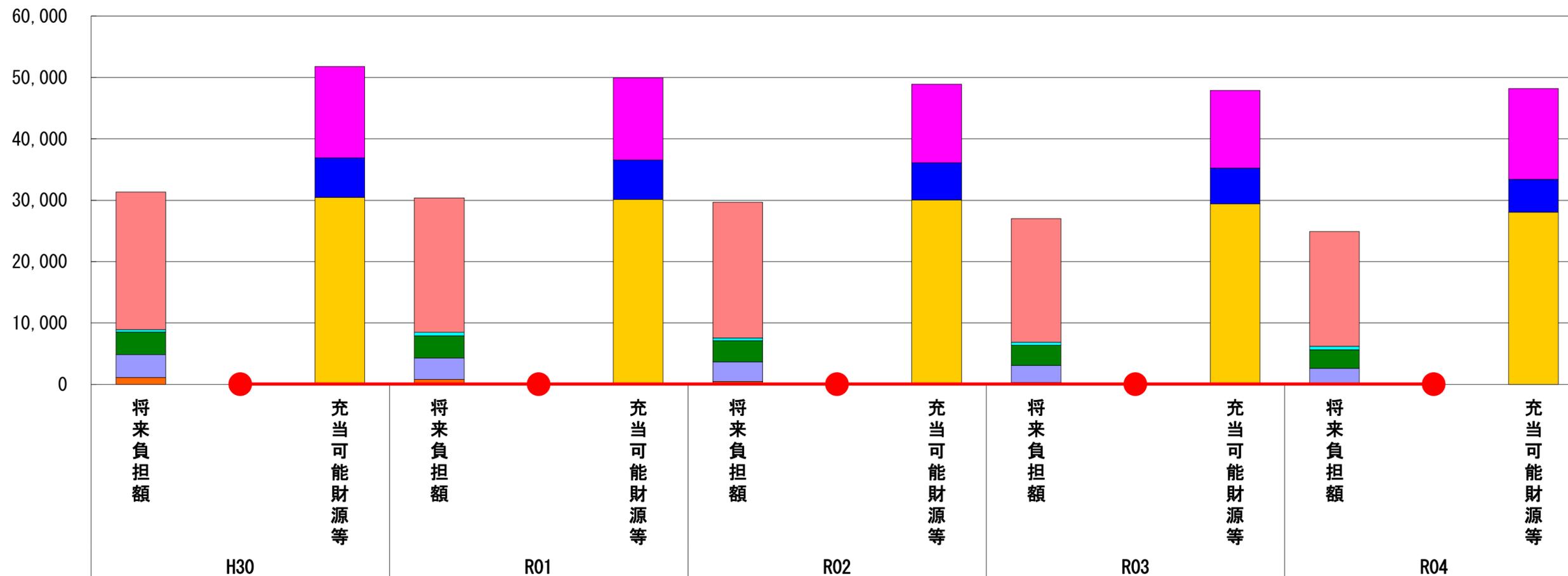
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和4年度

福岡県大野城市

(百万円)



(百万円)

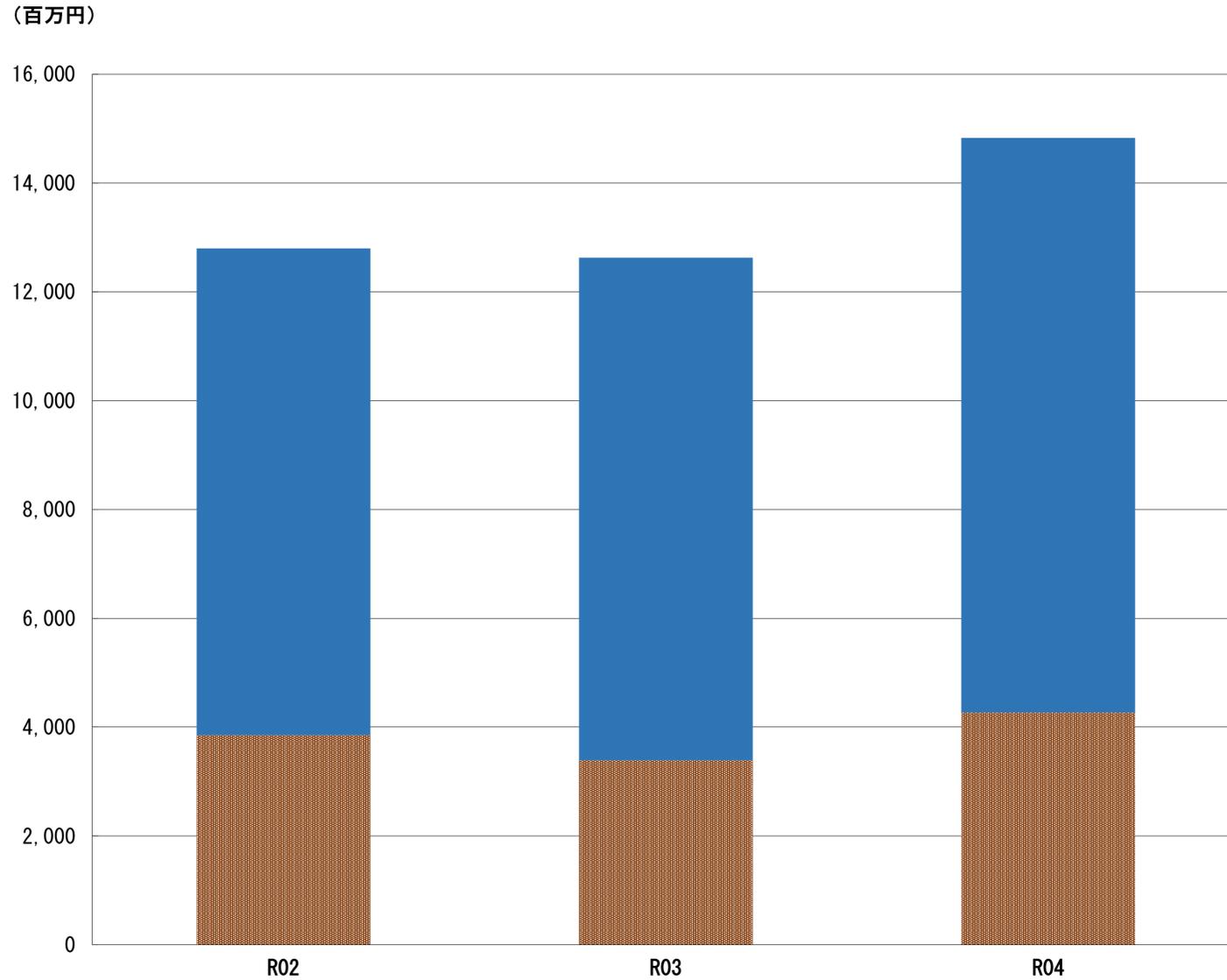
分子の構造		年度	H30	R01	R02	R03	R04
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高		22,436	21,912	22,131	20,162	18,693
	債務負担行為に基づく支出予定額		376	573	445	458	556
	公営企業債等繰入見込額		3,690	3,608	3,450	3,272	3,033
	組合等負担等見込額		3,744	3,481	3,193	2,816	2,439
	退職手当負担見込額		1,111	816	465	304	174
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金		14,892	13,385	12,802	12,635	14,822
	充当可能特定歳入		6,439	6,438	6,077	5,821	5,355
	基準財政需要額算入見込額		30,474	30,107	30,033	29,430	28,040
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 20,448	▲ 19,541	▲ 19,227	▲ 20,874	▲ 23,323

分析欄

充当可能財源等が将来負担額を上回っている。今後とも住民サービスを低下させることなく、将来負担の適正化に努める。

※令和5年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



区分	年度	R02	R03	R04
財政調整基金		3,851	3,389	4,265
減債基金		-	-	-
その他特定目的基金		8,945	9,240	10,563
公共施設整備基金		4,858	4,274	4,614
ふるさと応援基金		777	1,750	2,410
連続立体交差事業等整備基金		1,908	1,828	1,764
自治体デジタル化推進基金		200	200	589
地域福祉基金		569	570	570
基金残高合計		12,796	12,629	14,828

令和4年度

福岡県大野城市

基金全体

（増減理由）

小学校校舎大規模改修事業やまどかびあ施設整備事業などの財源として、「公共施設整備基金」を約3億5千万円取り崩した。その一方で、決算剰余金等により、「財政調整基金」に約9億8千万円、ふるさと納税に伴う寄附金により、「ふるさと応援基金」に約1億8千万円を積み立てたことなどにより、基金全体としては、約2億2千万円の増となった。

（今後の方針）

中長期的には、人口減少に伴う歳入の減少、少子高齢化に伴う扶助費等の増加及び公共施設の更新等に係る費用の増加が見込まれるため、基金全体としては減少していく見込である。今後も引き続き、財政状況等を注視しながら、基金の目的に沿った積み立て及び取崩しを行っていく。

財政調整基金

（増減理由）

補正予算の財源として約1億円を取り崩した一方、決算剰余金等により、「財政調整基金」に約9億8千万円を積み立てたことによる増加。

（今後の方針）

災害への備えのため、財政状況を踏まえながら、基金残高を確保していく一方で、今後増加が見込まれる扶助費等や必要に応じて市債の償還の財源へ充当していく。

減債基金

（増減理由）

市債の償還がピークを越えたことから、減債基金の新規積立や取崩しは終了。

（今後の方針）

市債の償還には必要に応じて、「財政調整基金」を活用していく。

その他特定目的基金

（基金の用途）

- ・公共施設整備基金：公共施設の計画的な整備促進。
- ・ふるさと応援基金：ふるさと大野城を応援するために贈られた寄附金を活用して、次世代につながる事業の推進。
- ・連続立体交差事業等整備基金：西鉄天神大牟田線連続立体交差事業及びこれと関連する街路整備・駅周辺等整備の計画的かつ円滑な推進。
- ・自治体デジタル化推進基金：デジタル技術を活用して行政サービスの向上を図る事業の推進。
- ・地域福祉基金：在宅福祉の向上、健康づくり等の課題につき、民間活動の活性化を図り、地域の特性に応じた高齢者等の保健福祉施策の推進。

（増減理由）

- ・公共施設整備基金：公共施設の更新等の財源として、約3億5千万円を充当した一方、将来の更新等に備えた財源として、約6億9千万円を積み立てたなどによる増加。
- ・連続立体交差事業等整備基金：連続立体交差事業等の財源として約7千万円を充当したことなどによる減少。

（今後の方針）

- ・公共施設整備基金：公共施設マネジメント計画に基づく事業等の財源として、年度ごとの財政状況を踏まえ対応していく。
- ・連続立体交差事業等整備基金：連続立体交差事業の進捗状況などを踏まえ、対応していく。